ソフトウェア概論 A/B

-- Compile/順接/関数 --

数学科 栗野 俊一/渡辺 俊一

伝言

- □ 出席パスワード: 20210416
- □色々なお知らせについて
 - ○栗野の Web Page に注意する事

http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino

- □対面講義の受講者へ
 - o座れる席は QR コードが貼られている席だけです
 - ▶携帯電話で、位置情報を送ってください
- □廊下側の一列は遅刻者専用です(早く来た人は座らない)
- □講義開始前に済ませておく事
 - oPC の電源を入れておく
 - ○ネットワークに接続しておく
 - ○今日の資料に目を通しておく
- □講義前の注意
 - o講義前は、栗野は準備で忙しいので TA を捕まえてください

対面講義の方へ

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

対面講義の方へ

対面講義の方へ

- □出席
 - ○出席は、入口の所にある出席管理システムに学生証をタッチする
- □席は、QR コードが書いてある所
 - ○QR コードの扱いは、教室の前にあるポスターに従う
- □教室内では
 - ○静かに!!
 - ○PC をネットワークに接続する (CST-network がつかえます)
 - ⊳ SSID: CST-network
 - ▶PW: 講義中の黒板に記載しておきます
 - oPC に電源をいれ、本日の資料に目を通す

ハイブリッド講義の進め方

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

ハイブリッド講義の進め方

ハイブリッド講義の進め方

- ロハイブリッド講義の進め方
 - ○基本は、すべて、一台の Note-PC の画面上で行う
 - ▶対面の人: 教室前のスクリーン
 - ▶Zoom の人:画面共有
 - o音声
 - ▶教室:地声
 - ⊳ zoom : zoom
 - o チャット
 - ▷ zoom の人だけ
 - o発言/質問
 - ▶個別

前回(2021/04/09)のまとめ

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

前回(2021/04/09)のまとめ

前回(2021/04/09)の復習

- □前回(2021/04/09)の内容
 - ○講義の進め方(相変わらず、栗野は小言が多い)
 - ▶他の人の学習の邪魔はしてはならない
 - ▶講義中は喋るな!!
 - oubuntu 環境での C 言語処理
- □講義内容
 - oWeb で公開されているので、復習する
- □演習課題
 - ○毎回堤出する事
 - ○期限が遅れても、とにかく、「全部」堤出する
- □実習内容
 - ○演習を行うためのセットアップ
 - ▶作業用フォルダの作成
 - ▶ ubuntu への gcc のインストール
 - ⊳ Hello, World

今回(2021/04/16)の予定と課題

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

今回(2021/04/16)の予定と課題

お知らせ

- □出席パスワード: 20210416
 - o出席は CST Portal で取りますが、成績には(残念ながら?)無関係です
 - ▶単位を取りたいならば、課題を提出しましょう
- 口本日の予定
 - ○Compile (コンパイル) の仕方を覚える
 - oプログラムを書いてみよう
 - ⊳ Hello, World
 - ▶「関数呼出し」を並べてみよう
 - ▶自分で新しい「関数を作って」みよう
- □本日の目標
 - ○講議の進行方針を把握する
 - ○演習
 - ▶C 開発環境 (ubuntu) の利用方法
 - ▶プログラムの作成と実行
 - ▶課題の提出

先週の課題

□ 先週の課題 ○なし (初回なので)

今週 (2021/04/16) の課題

- □今週 (2021/04/16) の課題
 - ○課題 20210416-01:
 - ▶ ファイル名: 20210416-01-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
 - ▶内容:「Hello, 自分の名前」を3回出力するC言語のプログラム
 - ○課題 20210416-02:
 - ▶ ファイル名: 20210416-02-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
 - ▶内容:「Hello, 自分の名前」を表示する関数を作成しなさい
 - ○課題 20210416-03:
 - ▶ ファイル名: 20210416-03-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
 - ▶内容:「Hello, 自分の名前」を100回以上出力する C 言語のプログラム
- □提出するファイル形式
 - ○全てテキストファイル(C 言語プログラムファイル)
 - o提出先は CST Portal Ⅱ

プログラミング

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

プログラミング

プログラミング

- ロ「プログラム」とは
 - ○計算機への指示(作業手順)を記述したもの
 - ▶計算機はプログラムに記述されている指示に従って動く
 - oプログラムはファイルの形で保存する事により何度でも利用可能
 - ▶プログラムが記録されているファイル:プログラムファイル
 - ▶「手順」を「記録」して「再利用」できる
- ロプログラムの「実行」
 - ○計算機がプログラムの内容に従って動く事
- □(shell に)プログラムを実行させる
 - o shell にプログラムが記録されているファイルのファイル名を指定し、実行するように指示する事
 - ▶ shell はファイル名を指定すると、それをプログラムとして実行しようとする
- ロプログラミングとは
 - ○プログラムを作成する事
 - ▶やりたい事を「実現」するためにその「手順」を考える
 - ▶その手順をファイルに記録する(プログラムファイルの作成)

プログラム vs 料理

- □プログラム:作業の手順
 - ○レシピ:料理の作り方
- □計算機:プログラムを実行する「主体」
 - ○普通の料理人(主婦):レシピに従って料理をする
- ロプログラマ:プログラムを作成する人
 - ○創作料理家:レシピを作る人
- ロプログラムの実行 (その結果、「『何か』が実現[計算]さ」れる)
 - ○料理をする(その結果、「『食べる物』」が作ら」れる)

プログラミング言語

- ロプログラミング言語とは
 - ○プログラムを記述するための専用の言語 (<反> 自然言語)
 - ⊳C 言語, java, python, etc..
 - ○計算機向け(「数学」の記法に近い)
 - ▶厳密で簡潔
 - ▶融通が利かない
 - oプログラムはプログラミング言語で記述される
- □機械語と高級言語
 - ○機械語:計算機が「直接」実行する事が可能な形式(人間に解り辛い)
 - ○高級言語:(機械語に比較して..)多少、人間に判り易い形式
 - ▶計算機で実行するには、「翻訳」or「通訳」が必要
- ロコンパイラ (言語処理系の形式の一つ)
 - ○高級言語で記述されたプログラムを機械語に「翻訳」する
 - ▶ソース・プログラム:高級言語で記述されたプログラム(ファイル)
 - ▶オブジェクト・プログラム:機械語で記述されたプログラム(ファイル)
 - ○インタープリターは「通訳」をする
 - ○最近の言語は、ハイブリッドだったり、多段だったりする(簡単には区別できない)
 - ▶ソフトウェア概論では「C コンパイラ」を使う

コンパイル

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

コンパイル

C言語での「コンパイル」

- □C 言語:コンパイル言語
 - o C 言語で記述されたソース・プログラム(c ファイル) は、「そのまま」では、「実行」できない
 - ▶「実行」するには「機械語への翻訳(コンパイル)」が必要
 - ▶コンパイルすると、オブジェクト・プログラム(o ファイル)が作られる
- ロリンク
 - oオブジェクト・プログラム (oファイル)*だけ*では動かない
 - ▶補助のプログラム (ライブラリ: lib ファイル) も必要
- □ 実行ファイル (exe ファイル)
 - ○オブジェクト・プログラムとライブラリをまとめた物
 - ▶リンクによって作成される
- □ cc コマンド
 - oコンパイルと同時にリンクもする
 - ▶オブジェクトファイルと実行ファイルの両方が作られる
- ロプログラムの実行
 - o shell に実行ファイルを指定すると、実行ファイルの内容が実行される

Hello, World

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

Hello, World

C 言語で Hello, World

- □ Hello, World プログラム (sample-001.c)
 - o「Hello, World[改行]」
 - ○短いながら「完全な」プログラムで、意味がある
 - ▶プログラム作成の土台
- □しばらくの「プログラミング」学習
 - oとりあえず「動けば」良い
 - ▶「理解」は、後からもう一度やるので、その時に
 - ▶細かい話は後回し
 - o差分プログラミング
 - ▶結果を少しずつ作って行く
 - ▶すでに動く事が解っているプログラムの一部を変更する

printf 関数

- □ printf 関数
 - o「printf (引数文字列);」の形で呼び出す
 - ▶「引数文字列」が画面に表示されると言う「副作用」がある
 - ▶ 文字列はダブルクォーテーション(「"」)で挾まれている
 - ▷「\n」は「改行」の意味
- □色々な疑問
 - ○「関数」つて..?
 - ○「引数」つて..?
 - o「呼び出す」って..?
 - ○「副作用」つて..?
 - ▶ここでは、そう「呼ぶ」のだと思う事しよう
 - o他にも「#include」とか「main」とか「{」とか「}」って?
 - ▶ここでは、とりあえず「オマジナイ」と思う事にする(後日説明する)

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

順接

順接

- □順接
 - ○「命令」を並べる事
 - ▶「関数呼び出し」も「命令」
 - ○「命令」は、並べた順に「実行」される(命令の実行)
 - ▶ printf は文字列を出力する関数 (「実行」すると「出力」される)
 - ▶ printf の呼出しを「並べる」と文字列の出力が「並ぶ」
- □単純なプログラミング
 - ○計算機にさせたい「命令」を、その「実行順に並べ」る
 - ▶ 文字列を並べて表示したければ、文字列を出力する命令を並べればよい
 - ▶命令を一回書けば、命令を一度実行してくれる
 - ○一度プログラムを書けば、何度でも実行してくれる
 - ▶「効果」の「コピペ」

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

関数

関数

- □関数
 - ○命令列に名前を付けた物 (数学の「関数」とは異る)
 - ▶名前を指定して「呼出す」だけで、その命令列が実行できる
- □関数定義
 - ○命令列を「{」と「}」で囲って、それに関数名を付ける
 - ▶この命令列を関数の「本体」と呼ぶ
 - ▶「void」とか「()」の意味は、今回は説明しない
- □関数呼び出し
 - ○関数名を指定する事により、関数の本体の命令列が実行できる
 - ▶「()」の意味も、今回は説明しない
- □関数の効用
 - o「名前が付く」のでプログラムが理解り易くなる
 - ▶「同じである」事が「保証」される
 - ○関数を利用するとプログラムが短くできる
 - oプログラムの変更が容易になる

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

まとめ

今回のまとめ(1:プログラミングとは)

- □プログラミングとは:プログラムを作る事
 - ○プログラムとは:計算機への指示(作業手順)を記述したもの
 - ▶この講議では C 言語で記述された Text ファイル (*.c) がプログラム
- ロコンパイルとは
 - ○C 言語で記述されたプログラムを実行が出来る形に翻訳する事 ▶実行ファイル (*.exe) が出来る
 - ○チェックポイント:コンパイルの手順は憶えたか?
- □ C 言語とは
 - oK&R が作成したプログラム記述言語
 - ▶詳しくは、この講議を最後までしっかり聞こう
- ロプログラミングを学ぶには
 - ○習うより慣れる:とにかく、「手」を動かせ
 - ▶読書百遍、意、自ら通ず

今回のまとめ (2:C 言語)

- □「Hello, World」プログラムとは
 - ○単純だが、完全なプログラム:他のプログラムを作成する土台となる
- □「関数」とは:命令の集まりに名前を付けた物
 - ○関数の名前を指定して、その命令列(機能)を呼び出す事ができる
 - ▶ cf. printf 関数: メッセージを画面に出力する
 - ○自分で作成する事もできる
 - ▶ cf. main 関数:自分が作成するプログラムの開始地点
- □「順接」とは
 - 命令を順に並べる事。これにより、その命令をその並べた順で実行する事ができる ト操作の「手順」を与えるという、最も基本的なプログラムの記述方法
- □「命令」とは
 - oC 言語の中で「何か(計算)」をする記述表現
 - ▶今回は「関数呼び出し」しかやっていない
 - ▶「関数作成」と「関数呼び出し」は、プログラムの基本構造

ubuntu tips

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

ubuntu tips

ubuntu と windows のファイル共有

- □ ubuntu と windows のファイル共有
 - owindows の C:\usr\c と ubuntu の ~/c が共有されている
 - ▶一方を変更すると、他方も変更される
- 口作業の分担
 - oファイルの作成は、windows で C:\usr\c 以下に行う
 - oコンパイル実行は、ubuntu の ~/c 以下で行う

Ubuntu を最新の状態に

- □Ubuntu を最新の状態にするには
 - ○ネットワークに接続した状態で、次の二つのコマンドを実行すると、更新される
 - ⊳ sudo apt-get update
 - ⊳ sudo apt-get upgrade
 - ○初回は、時間が掛るので、暇な時にする(講議中はさける)
 - ▶講議のある日の前日の夜にすると良い

おしまい

ソフトウェア概論 A/B (2021/04/16)

おしまい